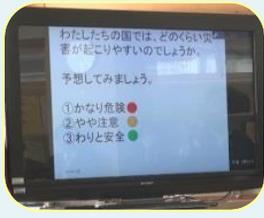


STUDYNET 「エクステンジボード機能」を活用した 社会科の授業（夢が丘小学校）

「多様な考えを知ることで新たな考えを生み出していく授業」への挑戦

<5-1・白石誠先生の授業...「自然災害とともに生きる」（6時間中1時間目）>

① モニター画面で東日本大震災の写真を見せた後、日本の自然災害の危険度を挙手で予想させる



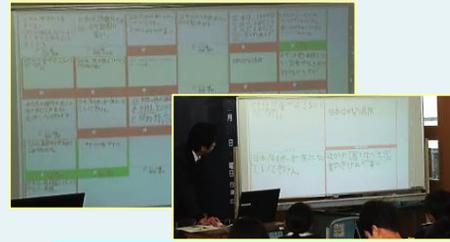
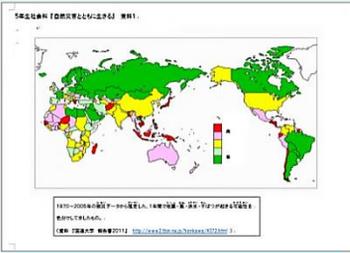
注目 <提示ツールを3種類活用>

モニター画面 黒板 ホワイトボード + 短焦点型プロジェクター

資料提示 資料提示 スタディネットの共有画面を大きく提示

手書き ⇒ 頭に入れてもらいたい内容

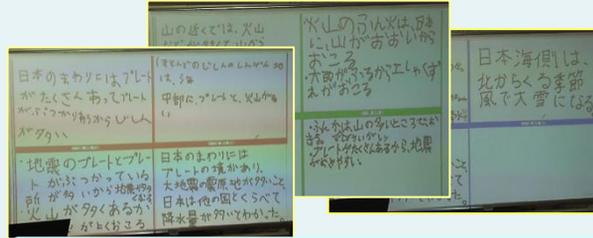
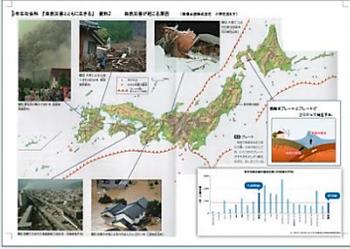
② 『資料1:自然災害が起こりやすい国』を配布し、気づいたことを書かせてスタディネットで共有



資料1はモニター画面にも提示

子供たちと一緒に内容の分類

③ 『資料2:自然災害が起こる原因』を配布し、自然災害の原因について書かせてスタディネットで共有



資料2は黒板にも提示

着目点に近いもの、違うものなど、考えを分類、共有

④ 二つの資料から、日本の災害についてどのようにまとめられるかを書かせてスタディネットで共有、まとめ

<白石誠先生より> 日本は自然災害が多く、その原因は国土の自然環境が関わっているということ、タブレットPCを活用して思考を共有させながら気付かせたいと思いました。これまでは、授業のねらいに沿うように、子供の意見をもとに教員が授業をまとめてしまうことも多かったですが、今回の授業では、子供が自分たちで多様な意見を見比べ、その中から大事なことをつかみ、自分たちで学習をまとめるということに挑戦しました。

一度に出てくる多様な意見を集約していく活動には難しさもありました。しかし、タブレットPCを活用することで、普段の授業でなかなか発言ができず参加しづらかった子供も何かを書こうと一生懸命考え、また他の子供の考えをよく見比べて、それを参考にして自分の考えをまとめていくことができました。

これからの子供たちにつける力の一つとして、新学習指導要領にも「対話や議論を通じて、自分の考えを根拠とともに伝えるとともに、他者の考えを理解し、自分の考えを広げ深めたり、集団としての考えを発展させたり、他者への思いやりを持って多様な人々と協働していくこと。」とあります。これからさらに勉強し、子供たちが互いの考えを知り、みんなで新たな考えを生み出す授業に挑戦していきたいと思ひます。